

# 一、首位攻防戦

巨人対中日

勝率八割をひっさげて、初めて後楽園に乗り込んだ中日ドラゴンズ。調子の上がつてきたMN砲。対する巨人の看板ON砲。文字通りの首位争いです。中日は早くも三回ヒットの河村、高木守を塁上におき、MN砲の先陣マーシャルが登場。城之内の三球目を右前にハジキ返して河村を迎える。1点を先行。

一方、河村に押えられたジャイアンツは6回ホームラン9本、打点26、打率四割五分六厘をマーク。して三冠王をつっ走る王が中前に快打、続く長島もホームラン8本の快調さからして、一発逆転の好機。

しかし河村の落ちる球に引っかかりダブられて期待はずれ。無念的表情をかくし切れない川上さん。その後、両軍共にチャンスを作りながら一発が出ず、するするよいよ最終回巨人の攻撃です。この回のトップバッター長島はショートゴロ、いよいよ敗戦の色濃い巨人はここが勝負に対する土根性の見せ所。ピンチヒッターの塩原はヒットで一塁、目下巨人の成長株船田がセンター前にヒットし、得意のドンデン返し劇を演ずるかの様相。しかし、続く森は見えなく一塁ゴロに打ちとられ、巨人ファンの期待を裏切ってゲームセット。これで河村は開幕以来六連勝と勝星を加えました。続く第二試合も調子の波に乗る中日にガイガーガーががりました。

## 一、休暇時代

世はあげてバカンス時代。

62歳の誕生日を迎えた天皇陛下はますます御健在で、生物の研究に打ち込んでおられます。

これにあやかってか、結婚式場は国電なみのラッシュです。

レジャーの活用はこのゴールデン・ウィークが最高、例年通りの人出で上野駅はふくれあがります。日頃、家庭サービスを忘れがちのサラリーマンも都心を離れて家族連れのピクニックで名譽ばん回。一方、交通公社の係員をてんてこ舞いさせるのは、若い人達の旅行プラン。だが、陸の交通機関では物足りない人も近頃は多いようです。

このため、羽田空港は完全に国内線に占領されました。

しかし国際線を利用する人もあります。この人は航空会社の社員日頃の勉強ぶりは実地試験が一番効果が上がるということで、費用は会社持ち。年間の休みを全てこのゴールデン・ウィークにまとめてとるといふほどの徹底ぶり。

ここ東京のあるカメラ会社は週五日制を実施。日頃の仕事の疲れも、これでとり戻せるとあって、会社側は一石二鳥をねらったというわけか。社内の私設旅行案内所で旅行計画に一生懸命打ち込んでいます。

アイモ風土記

## 一、南房

千葉

初夏の陽ざしにゆつたりと横たわる南房總の海岸。黒潮に抱かれ、寒さ知らずの温暖、美しい自然です

ここ白浜町根本部落は南房の村々がそうであるように、男衆は遠洋漁業の出稼まで、今は女ばかりの村だが、この村も四月の磯の口あけと同時に活気を帯びてくるのです。

仕事に一段落つくと、時代離れたホラ貝を合図に女子衆は一斉に浜に集まり、天草にワカメにと海の幸を求めて、磯に、沖に出かけるのです。美しい風光のかげに、猫の瀬などの耕地。荒れた磯と、恵まれぬ生活があるのですが、この土地に住む人は強烈な陽ざしの下にぐり抜けられる健康な労働に幸わせを見ることができます。それは恵まれぬ風土を克服した喜びともいえるでしょう。

663吹 217吹

244.1吹

201吹

中部日本ニュース映画社

製作配給 東京中日新聞